

# 自動物流道路の実装に向けたコンソーシアムについて

---

# 自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム第1回会合

- 自動物流道路の実装に向けた検討を促進するため、コンソーシアムを設置。本年5月16日に第1回会合開催。
- 冒頭、国土交通大臣から官民連携による議論の必要性、自動物流道路の実現への期待などの挨拶があった。
- 出席者からは、実証実験における事業者間マッチング、サービスレベルに関する分科会同士の連携などについての意見があった。

## ■自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム第1回会合

- 日 時:令和7年5月16日(金)14時~16時
  - 場 所:国土交通省10階供用会議室
  - 参加者:約160名(79社)
- 【代表幹事】  
ビジネスモデル分科会:淡路 武彦(旭化成株式会社 購買・物流統括部長)  
オペレーション分科会 :北條 英(公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事)  
インフラ分科会 :杉井 淳一(中日本高速道路株式会社 経営企画本部 経営企画部長)



<国土交通大臣挨拶>



<物流団体連合会会長挨拶>



<検討会委員長挨拶>



<コンソーシアム会合、各分科会>

# 自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム構成員(令和7年5月16日時点)

(五十音順、敬称略)

No.	企業名	所属分科会			No.	企業名	所属分科会		
		ビジネスモデル分科会	オペレーション分科会	インフラ分科会			ビジネスモデル分科会	オペレーション分科会	インフラ分科会
1	アートバンライン株式会社	○			40	成田国際空港株式会社			○
2	アサヒグループジャパン株式会社	○			41	日本貨物鉄道株式会社		○	
3	アマゾンジャパン合同会社	○	○	○	42	日本工営株式会社		○	
4	インフロニア・ホールディングス株式会社	○			43	日本シビックコンサルタント株式会社			○
5	株式会社エイト日本技術開発			○	44	日本製鉄株式会社			○
6	株式会社エクセディ		○		45	日本電気株式会社			○
7	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社		○		46	日本物流システム機器協会			○
8	株式会社大林組	○	○	○	47	日本郵便株式会社	○		
9	株式会社奥村組	○		○	48	野村不動産株式会社			○
10	株式会社オリエンタルコンサルタンツ			○	49	福山通運株式会社	○	○	
11	花王株式会社	○			50	不二製油株式会社	○		
12	鹿島建設株式会社			○	51	富士通株式会社		○	
13	京セラコミュニケーションシステム株式会社	○	○	○	52	前田建設工業株式会社		○	○
14	グローバル・インフラ・マネジメント株式会社	○			53	前田道路株式会社			○
15	株式会社建設技術研究所	○	○	○	54	株式会社みずほ銀行	○		
16	株式会社構造計画研究所	○	○	○	55	三井住友建設株式会社			○
17	コンチネンタル・オートモーティブ株式会社		○		56	三井不動産株式会社			○
18	国立研究開発法人産業技術総合研究所	○	○	○	57	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	○	○	○
19	株式会社ジェイ・ティー・マネジメント	○	○	○	58	三菱地所株式会社	○		○
20	清水建設株式会社		○	○	59	三菱倉庫株式会社			○
21	株式会社住友倉庫	○	○	○	60	三菱電機株式会社	○	○	○
22	西濃運輸株式会社	○			61	ヤマト運輸株式会社	○	○	
23	セーファー株式会社		○		62	ロジスティード株式会社	○	○	
24	株式会社セブン-イレブン・ジャパン		○		63	一般社団法人ワークロイド・ユーザーズ協会	○	○	○
25	センコーグループホールディングス株式会社	○			64	Cuebus株式会社	○	○	○
26	損害保険ジャパン株式会社	○			65	ecoro GmbH		○	
27	大成建設株式会社	○	○	○	66	EVワイヤレス給電協議会	○	○	○
28	大成ロテック株式会社			○	67	F-LINE株式会社		○	
29	大日本ダイヤコンサルタント株式会社			○	68	株式会社 IHI	○	○	
30	株式会社ダイフク			○	69	株式会社IHIインフラシステム			○
31	株式会社竹中工務店			○	70	IHI運搬機械株式会社		○	
32	株式会社竹中土木	○	○	○	71	株式会社Jij		○	
33	株式会社長大		○		72	JIMテクノロジー株式会社	○	○	○
34	鉄建建設株式会社			○	73	LocationMind株式会社		○	○
35	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	○			74	MDロジス株式会社	○		
36	株式会社ドーコン	○		○	75	株式会社NX総合研究所	○		
37	トーヨーカネツ株式会社			○	76	SOMPOインスティテュート・プラス株式会社	○		2
38	戸田建設株式会社	○		○	77	Zip Infrastructure株式会社	○	○	○
39	株式会社豊田自動織機		○						

※非公表含め79社

# 各分科会スケジュール(案)

	2025年									2026年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	
コンソーシアム (全体会)	5/16 ▼設立			8～9月 ▼実験公募				11～2月 ▼実験実施(フェーズ1) ・ユースケース/検証項目 ・実験見学				3月 ▼実験結果等の共有	
ビジネスモデル 分科会	5/16 ▼第1回分科会 ・キックオフ ・事業シミュレーション(案)	6/6 ▼第2回分科会 ・事業シミュレーション ・事業成立に向けた論点と課題の抽出(提供すべきサービス等)				10～12月 ▼第3回分科会 ・事業成立に向けた論点と課題の抽出(提供すべきサービス等)					3月 ▼第4回分科会 ・事業成立に向けた論点(提供すべきサービス等)	引き続き検討 ・提供すべきサービス ・事業運営者の要件 ・事業シミュレーションの精査	
今年度の主な論点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業シミュレーション</li> <li>・事業成立に向けた論点と課題の抽出</li> </ul>												
オペレーション 分科会	5/16 ▼第1回分科会 ・キックオフ ・R7実験 ユースケース/検証項目(案)	6/26 ▼第2回分科会 ・R7実験ユースケース/検証項目 ・R7実験応募/選定条件		9～10月 ▼第3回分科会 ・R7実験計画 ・技術開発の方向性(案)(ロードマップ(案))							3月 ▼第4回分科会 ・技術開発の方向性(ロードマップ)	引き続き検討 ・フェーズ2実験 ・未検証ユースケース(フェーズ1) ・具体的な技術要件	
今年度の主な論点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の実証実験にて検証すべきユースケースの設定</li> <li>・技術開発の方向性(ロードマップ)</li> </ul>												
インフラ 分科会	5/16 ▼第1回分科会 ・キックオフ ・道路構造カルテ、整備形態選定フロー(案)	6～7月 ▼第2回分科会 ・整備形態選定フロー ・ケーススタディ 区間選定				11～12月 ▼第3回分科会 ・ケーススタディ					3月 ▼第4回分科会 ・道路構造カルテ ・ケーススタディ	引き続き検討 ・具体的ルート、構造条件の設定 ・上記を踏まえた拠点の配置/面積	
今年度の主な論点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備形態の検討</li> <li>・具体的な区間を想定したインフラ面のケーススタディ</li> </ul>												

※令和7年3月の各分科会は合同開催の予定